

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 一般重要案件(1)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43791

ワトソン夫人の内話 一 完

公信写配付済

北米局長
参事官
北米課長

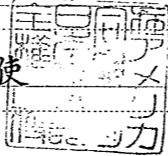
秘

政第 8085 号

昭和 24 年 1 月 27 日

外務大臣殿

在 米 内 大 使



沖繩問題に関するワトソン前高等弁務官

夫人内話

当地老女院長前琉球高等弁務官ワトソン

中將夫妻は先般マギファート陸軍次官私邸の宴席に招待されたところ「ワ」夫人は同席の当館千葉に対し沖繩生活を回顧し自分はもとより政治問題は知らないが以下の感想は「ワ」中將も全く

要処理	連絡
要研究	至急
長	
英	河内
山	吉澤
山	中吉田
森	山坂元
相	川崎
中	田
橋	本
黒	須



GA-4

2516 外務省

同感であるし前置きの上要旨下記のように極めて率直に内話せる趣につき一婦人の回想に過ぎないが何ら御参考までに報告する。なおご如才なきことながら同夫人の立場もあり御取扱に御留意願いたい。

記

1. 沖繩は 2 年有餘の任期であったが私ら夫妻ともに極度に疲労しこの 2 年がひどく長く感ぜられた。主人はもとより自分も長い陸軍生活の最後を飾るこの勤務は極めてやり甲斐のあるかつ有意義なものであったとは思っておりまた軍の中の他の地位に比して異例の激職だとも感じなかったが何分現地の特殊なステータスから来る人的雰囲気のため毎日毎日人知れず氣を使わなければならぬ真が最も辛かった。

GA-4

外務省

やりくりがあり、上述の如く在勤期間が比較的長く感ぜられた訣である。

3. 与で息ぬきによく主人出張の機会などに同行して日本を訪問したかどれほどこれで元気を回復したか分らない。特に東京オリンピックは最も楽しい思い出の一つであり、日本本土人の卓越した能力とエネルギーをまの当り見ると共にこれと比べて沖縄の人々の現状につき深く考えさせられた。これは全く私個人の考えであるが、日本の強い経済力を以ってしても辺土でしかも人的物的資源に恵まれぬ沖縄に本土の如き繁栄をもたらすことは当分不可能だと思ふ。この意味で米軍基地は、その防衛上の意義も乏しく、沖縄人の現在の生活水準を維持するのには欠くことの出来ない存在であると考える。沖縄

いつか日本に復帰するであらうが、その時に優秀な本土の人々の現地の能力水準に対し暖かい思いやりを持つことが必要でないかと思われ。

4. 任期中のHigh Pointは昨年度の佐藤総理大臣の訪沖で、私共夫妻にとって大きな名誉であるのみならず、総理の極めて魅力的な御人柄もあり個人としても非常に嬉しかった。訪沖の結果は日米琉いずれにとっても極めて良く今日に至るまでその影響が感ぜられるようだが、御滞在中デモにおいて御迷惑されたことはかえりかえすも残念で今でも申訳ないと思つてゐる。当時主人は「お辛い思いをしてたが、せめてもあのような事態となつて了は他には仕方もなかったろう。総理の御無事が何よりであつたと二人で話し合ったものである云々。

秘

公 信 写

米北 至急情報 (原 908) 至情係受12.3 配布12.6

第 8085 号 昭和41年11月29日付 (22受領)

外務大臣

在

米
武内大使

沖縄問題に関するワトソン前高等弁務官

夫人内話

当地老女院長前琉球高等弁務官ワトソン

中將夫妻は先般マギファート陸軍次官私邸の宴

席に招待されたところ「ワ夫人は同席の当館千葉

に対し沖縄生活を回顧し自分ももともと政治

問題は知らないが以下の感想は「ワ中將も全く

GA-4

外務省

外務省

秘

公 信 写

同感であると前置きの上要旨下記のように極
めて率直に内話せる趣につき一婦人の回想
に過ぎないが何れも御参考までに報告する。
なお「如才なきことながら同夫人の立場もあり
御取扱に御留意願いたし。

記

1. 沖縄は2年有余の任期であったが私ら
夫妻ともに極度に疲労しこの2年がひどく長く
感ぜられた。主人はもとより自分も長い陸軍生活の
最後を飾るこの勤務は極めてやり甲斐のある
かつ有意義なものであったと思っておりまた軍
の中の他の地位に比して異例の激職だったこと
感じなかったが何分現地の特殊なステータスが
来る人的雰囲気のため毎日毎日人知れず気を
使わなければならぬのが最も辛かった。

GA-4

外務省

外務省

かゝる次第で私自身としては米人はもとより日本
本土人も沖縄には余り長く在勤しない方がよい
と痛感した。例えばキャラウェイ元高等弁務
官は生真面目な性格の上に長く居過ぎた為
心身共に消耗したもので、まことに御気の毒だ
うたと思つてゐる。また日本側では南方連絡事
務所の方々、特に所長が微妙な立場にある
ことは私共夫妻もよく心得つたつもりだが、それ
でもさぞ大変であつたらうと同情申上げた。よな
ことが二三あつたと記憶してゐる。

2. かゝることの原因はもとより多々あるがやはり
最も大きな理由として主人とよく話し合つたのは、沖
縄現地位民の島民性といふか、縣民性の特殊
さにあると思う。個人的には男女ともに互しく
気立がよく好感がもつるか、元来内地であつた

こゝに起因する教育上の不利、戦前の内地人との
差別感、戦中戦後の異常な体験等により、表
面はともかく内面は HYPER-SENSITIVE でしかも
UNPREDICTABLE であり、率直に言つて決して
「扱い易い」はなく、しかも集団になると左翼及び
右翼を言へば本土からの影響もあり、主人も
ずいぶん人知れず困つてゐた。勿論琉球政
府行政主席、立法院議長その他最上層の人
々の如く、夫妻ともに非常にすぐれた人物である
ケースもあり一概には言えないが、ともかく連日
公私ともに気を使う上に、沢山いるアメリカ人同
志及び米人、現地人の関係もよく考えさせらね
ばならず、また主人の方は本土の新聞が沖縄
についてセンセーショナルな記事(たとえば偉人の
発言と稱するものなど)が出る度にワシントンヒ

ヤリヒリがあり、上述の如く在勤期間がむしろ長く感ぜられた訳である。

3. 与で息ぬきによく主人出張の機会などに同行して日本を訪問したかどれほどこれで元気を恢復したか分らない。特に東京オリンピックは最も楽しい思い出の一つであり、日本本土人の卓越した能力とエネルギーをその当り見ると共にこれと比べて沖縄の人々の現状につき深く考えさせられた。これは全く私個人の考えであるが、日本の強い経済力を以ってしても辺土でしかも人的物的資源に恵まれない沖縄に本土の如き繁栄をもたらすことは当分不可能だと思ふ。この意味で米軍基地は、その防衛上の意義もさることながら、沖縄人の現在の生活水準を維持するのには欠くことの出来ない存在である。沖縄

いつか日本に復帰するであらうが、その時に優秀な本土の人々の現地の能力水準に対し暖かい思いやりを持つことが重要でないかと感ぜられる。

4. 任期中の High Point は昨年夏^夏の佐藤総理大臣の訪沖で、私共夫妻にとって大変な名誉であるのみならず、総理の極めて魅力的な御人柄もあり個人としても非常に嬉しかった。訪沖の結果は日米琉いすれに於ても極めて良く今日に至るまでその影響が感ぜられるようだが、御滞在中デモによって御迷惑されたことはかえりかえすも残念で今でも申訳ないと思つてゐる。当時主人は「お分辛い思いをしてたが、ともかくあつた事態となつて了は」他に任方もなかったら、総理の御無事が何よりであつたと二人で話し合ったものである云々

